

青山 68 会展

田中 宣男 (68回)

60卒

14年前の青山同窓会新年会の帰りの2次会に68回の若松、池主、岩原、田中の4人で古町に繰り出しました。カラオケも一段落したところで趣味の話になりました。そこで誰かが「我々68回生だけで作品展をやってみないか」と発言し酒のせいで一気に盛り上がり話がきまりました。

早速その年の秋に「第1回青山68会展」を県民会館ギャラリー

リーで開催することが出来ました。絵画、写真、俳句に短歌、陶芸や模型等々何でもオーケーの作品展です。以来、紆余曲折はありましたが昨年の秋、新潟市美術館で「第14回青山68会展」を開催し無事終わりました。

昭和35年卒業の68回生は約350人ですが、今までに約50人が作品展に出展しております。(関東在住者含め)同期生だけの行事としては他に例をみないと自負しております。

然し、最近は些か歳のせいではいろいろな作業が重くなってきました。会場の手配、案内書の作成と郵送、作品タイトルの作成、マスコミへの案内、会場での展示作業等々。絵画を吊るして展示するための脚立作業は足元も少しおぼつかなくなりました。

毎年会場に来られる常連の方々から「また来年も楽しみにしています」「皆さんレヘル

が上がりましたね」等とお声を掛けていただきました。中には毎年この作品展に合わせて全国から3人姉妹が集まり、兄さんの作品を楽しそうに観賞されている方もおられます。

外に出て写真を撮ったり、自宅に閉じ籠り絵画や俳句、陶器等それぞれ趣味の制作に余念がありません。頭はしっかりしていますが、身体が少し弱ってきています。今年も「青山68会展」を開催出来るか皆で思案中です。

